



君は未来！

2025 兵庫県立
洲本高等学校
総合探究類型



きっと明日は
晴れるよ!



総合探究類型 3年
長井 治 都

文武両道。高校生活で誰もが求めるこの4文字。それを体現できるのが総合探究類型です。授業で僕は、害虫駆除の為にオリジナル団子の研究を進めました。また、未来探究東京ツアーや臨海学習などを通じて、調べ学習で終わらず常に「なぜ」を追求することで社会で活かせる課題発見力や情報収集力が身に付きました。部活動との両立も可能です。僕は野球部ですが普通科生とほぼ同じ練習内容で何も不安はありません。部活動で鍛えた体力を活かして探究活動のフィールドワークで活躍できたり、探究活動で培ったデータ分析力を活かして野球のデータを取ったりと両立することでどちらにもプラスになっています。一度きりの高校生活。せっかくなら文武両道で晴れやかな高校生活を実現しませんか？



アース製薬からいただいた害虫を実験用容器に移す



害虫が好む食べ物を調べる実験

野球部では副キャプテンであり、サードを守る長井くん



探究の日々



総合探究類型に在籍してよかった点は、様々な活動を通して、多くの分野に触れることができる点です。探究類型では、多くのツアーや外部での発表があります。自分ではなかなか触れることのない世界に触れる機会があるということは、それだけで自身の糧になると思います。様々な知識に触れ、自身の興味を広げられるところが総合探究類型の魅力だと思います。

北海道大学工学部機械知能工学科
総合探究類型 第11期卒業生
先田 敏之 さん

▶ 科学技術部での活躍



ロケットの打ち上げ実験後の記念撮影



植松電機(北海道)での研修

今、求められる力を高める

新時代を支える人材とは

日本が目指す未来社会の姿といわれる「Society 5.0」。IoTやAI、ビッグデータ解析など先進テクノロジーを活用し、これまでの社会の課題を解決するとしています。
この「Society 5.0」時代には、自ら課題を発見し、解決手法を模索する、探究的な活動を通じて身につく資質・能力が重要となります。この概念は、SDGsとも密接に関連しています。

「内閣府 HP」より一部抜粋

求められている力とは

2022年の日本経団連のアンケート結果によると、企業が採用者に期待する資質・能力の上位項目は次の通りとなっています。

【期待する資質】

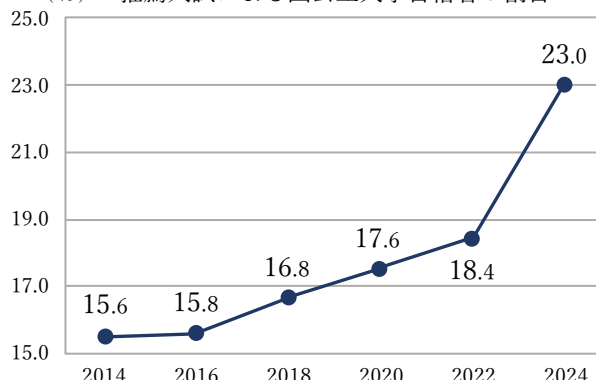
1位	主体性	84.0%
2位	チームワーク、リーダーシップ、協調性	76.9%
3位	実行力	48.1%

【期待する能力】

1位	課題設定・解決能力	80.1%
2位	論理的思考力	72.1%
3位	創造力	42.6%

国公立大学入試も変化

(%) 推薦入試による国公立大学合格者の割合



2024年度の大学入試では、ほとんどの国公立大学で推薦入試（学校推薦型選抜または総合型選抜型）が行われています。最新の動向では、「探究学習」を評価対象として取り入れる総合型選抜が増加しており、探究活動の成果や探究を通して身につけた資質・能力が高く評価されています。これらのことにより、推薦入試で国公立大学に入学する生徒の割合は、上のグラフのように急激に増加し2024年度には23%となっています。

「文科省 大学入学者選抜実施状況」より引用

あなたの探究心で
夢を現実に！



洲本高校 総合探究類型での学び

先生と相談しながら、各自が自分の興味・関心のある研究テーマを設定し、探究していきます。

1年 探究基礎

理型/文型を選択

2年 個人での探究活動

3年 まとめ

令和7年度入学生教育課程表(予定) 国公立大学、難関私立大学を目指す理系、医療、看護、教育系(文系にも対応)

時		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
学年		現代の 国語 ②		言語 文化 ②		公共 ①		歴史 総合 ②		数学 Ⅰ ③			数学 Ⅱ ②		生物 基礎 ②		化学 基礎 ②		体育 ③		保健 ①		芸術 Ⅰ ②		英語コミュ ニ ケーションⅠ ③		論理・ 表現Ⅰ ②		家庭 基礎 ②		情報 Ⅰ ②		H R ①		探究 基礎 ②*	
2年	理型	論理 国語 ②		古典 探究 ②		地理 総合 ②		公共 ①		数学 Ⅱ ⑤			数学 Ⅲ ②		物理基礎 ②		物理 ②		化学 ③		体育 ③		保健 ①		英語コミュ ニ ケーションⅡ ③		論理・ 表現Ⅱ ②		H R ①		総合的な探究 ①		科学探究 ②*			
	文型	論理 国語 ②		文学 国語 ②		古典 探究 ③		世界史探究 日本史探究 ③			公共 ①		数学 Ⅱ ④		数学Ⅲ 芸術Ⅱ ②		物理 基礎 ②														体育 ③		保健 ①		英語コミュ ニ ケーションⅡ ④	
3年	理型	論理 国語 ②		古典 探究 ②		地理探究 日本史探究 ③			数学Ⅲ ④			数学Ⅲ ②		物理 生物 ④		化学 ③		体育 ②		英語コミュ ニ ケーションⅡ ③		論理・ 表現Ⅲ ③		情報 総合 ①		総合的な探究 ②		H R ①								
						数学総合A ②			数学総合B ②		数学Ⅲ ②																									
	文型A	論理 国語 ②		文学 国語 ②		古典 探究 ②		地理 総合 ②		世界史探究 日本史探究 ③			数学 総合A ②		選択A ③		選択B ②		選択C ②		体育 ②		英語コミュ ニ ケーションⅡ ④		論理・ 表現Ⅲ ③		総合的な探究 ②		H R ①							
文型B	論理 国語 ②		文学 国語 ②		古典 探究 ①		地理 総合 ②		政治経済 倫理 ②			世界史探究 日本史探究 ③			数学総合C ③		数学Ⅲ ②		スタンダード 理科 ③		体育 ②		英語コミュ ニ ケーションⅡ ③		論理・ 表現Ⅲ ③		情報 総合 ①		総合的な探究 ②		H R ①					

○の中にある数字は週あたりの授業時間数です。

*は総合探究類型の生徒のみが履修する学校設定科目です。1年生探究基礎2時間のうち1時間分は、探究ツアーなど長期休業中に行います。

探究への いざない

1 年生



探究類型で私を Step up!

総合探究類型 2 年 岡田 依緒莉

1 年生では主にディベートやポスターセッションに取り組み、情報を収集・整理する力や良い発表の仕方を身に付けました。2 年生になり個人探究に取り組んでいますが、私のテーマは「ネギ坊主の減数分裂について」です。どの大きさのネギ坊主なら減数分裂を顕微鏡で観察できるのかを玉ねぎを育てることから探究したいです。皆さんも、私と一緒に探究類型で自分自身を成長させませんか？

探究基礎 (1 年次) 活動記録

グループディスカッション・ ポスターセッション

2023 年 5 月 9 日

『あなたは、「都会（通勤 30 分以内）の駅近マンションに賃貸で住む」と「郊外（通勤 90 分以上）の駅遠土地付き一戸建てを購入して住む」と、どちらを選びますか？』

他、二つのテーマの中から 1 つを選び、各班でのディスカッションを踏まえて、意見をポスターにまとめてプレゼンテーションを行った。



教育実習生座談会

2023 年 6 月 6 日

教育実習生（本校卒業生）と探究類型生徒が集まり、座談会を行った。教育実習生が高校時代にやっておけばよかったことや現在行っている研究、キャンパスライフについてなどをお話いただき、自分たちの進路を見据えてアドバイスをいただくなど良い機会とすることができた。



京都大学 石井英真先生 講義

2023 年 7 月 19 日

「探究学習を始めるに当たって一探究することを探究する」と題して、探究とはどういうことか、探究学習と調べ学習の違いについてなど講義いただいた。高校までの勉強と大学での学びの違いについて、正解を教わる勉強から正解のない問いを考え続ける学びに変化すること、研究のオリジナリティとは？などをわかりやすく教えていただき、探究の難しさや深さを感じ、知的関心が刺激される有意義な時間となった。



English Party

2023 年 7 月 20 日

1 学期の締めくくりに English Party と称して、オールイングリッシュでプレゼンテーションを行った。お勤めのお菓子を紹介しながらみんなで食べたり、旅行代理店という設定で海外への修学旅行のプランを提案したりした。楽しみながら英語の 4 技能を使った活動を行うことができた。



夏休み臨海実習

2023年8月7、24、25日

①マリンサイトでの藻類採集と観察実験

神戸大学内海域環境教育センターで神戸大学の上井進也先生に海藻について教えていただいた。海藻の種類や分類を教わった後、海で海藻を採集した。図鑑を見ながら海藻を分類し、乾燥標本を作製した。また、海藻から光合成色素を抽出して薄層クロマトグラフィーにより分離し、褐藻、紅藻、緑藻の種類によって含まれる光合成色素が異なることに気づくことができた。

②成ヶ島の海浜環境の臨海調査

兵庫県立大学の澤田佳宏先生にお越しいただき、成ヶ島のフィールドワークを行った。塩湿地での満潮時、海水に浸かる場所に生えるハママツナなどの絶滅危惧種を紹介していただき、南海特有の多様な生態系に生徒たちは興味津々であった。

③校内実習「ウニの発生の観察」「データ分析講座」

ウニを用いた発生の観察を行った。ウニの生態について学んだあと、試薬を用いて採取した精子と卵を受精させ、初期発生を観察した。また、「本四道路の毎月の交通量」のデータを用いて、グラフの作成方法やデータを扱うメリット・工夫点を学んだ。



医療系ディベート

2023年10月6日

神戸大学大学院医学研究科の石田達郎先生、保健学研究科の園田悠馬先生にお越しいただき『日本で積極的な安楽死を認めるべきである。是か非か。』という論題のディベートを見ていただいた。その後は、園田先生からは「医療を目指す君たちへ」と題し、高齢化における労働問題・医療問題やウェルビーイングの条件などについてお話いただいた。また、石田先生からはディベートの講評と、いいディベートをするには普段からいろいろなことを考えること、相手にどう伝わっているかを考えることが大事だというアドバイスいただいた。



淡路島の自然を学ぶ

2023年10月24日

環境省自然公園指導員の生嶋史朗先生にお越しいただき、鮎屋川ダム周辺のフィールドワークを行った。淡路島の自然について理解を深めるとともに、秋の味覚であるムベの実や、フユザンショウやノグルミなどを食した。また、ゴマの匂いのするハマクサギやお正月の飾りに使われるウラジロを観察するなど、植物を見るだけでなく五感で自然を楽しんだ。自然・生物についての理解を深め、科学的な自然観を育成することができた。



先端科学見学ツアー

2023年12月25・26日

1日目はキッコーマン高砂工場、兵庫県立大学工学部、兵庫県立大学西はりま天文台、2日目は理化学研究所「Spring-8」、姫路市立美術館を訪問、見学した。特に「Spring-8」では、普段公開されていない X 線自由電子レーザー施設「SACLA」のビームラインの中を歩きながら説明していただいた。難しくとも興味深い話に生徒たちは目を輝かせていた。生徒たちのこれからの個人研究、進路実現のための良い経験となった。



HYOGO グローバルリーダー育成プロジェクトにおける 「ひょうごリーダーハイスクール」に指定 R6 年度～(県立 7 校、最大 5 年間)

大学・地域・関係機関等と連携し、先進的・創造的な探究活動を行い、その成果を県内の高等学校等に伝え、兵庫の教育全体の底上げを図る役割を担います。

京都大学、大阪大学、神戸大学、兵庫教育大学、関西学院大学等との連携を図り、洲本高校の探究活動や国際交流を一層推進させていきます。



2年生



ANA 全日空機体工場で整備の様子を見学

未来探究 東京ツアー

東京で活躍する卒業生が多くいる洲本高校だからこそできる未来探究東京ツアー。一流企業や大学で活躍する卒業生を訪ねます。自分を知り、将来を考えるための貴重な体験をご紹介します。

01 メディセオ 見学



洲本高校 OB が代表取締役会長を務める大企業のメディセオを見学しました。社長室も見せていただき、自分の将来像を考える良い機会となりました。

04 ANA 見学



格納庫見学では機体の大きさに圧倒されるとともに整備士さんの働きを間近で見学でき、帰路はありがたい気持ちいっぱいフライトとなりました。

02 JICA 見学



JICA 地球ひろばを見学しワークショップに参加しました。世界が直面する様々な課題や開発途上国と私たちとのつながりを体感できました。

05 JAXA 見学



宇宙開発における最先端の技術や施設に触れることが出来、宇宙開発のすべてがここに集まっていると感じました。

03 国立科学博物館



多くの生物標本、生命が進化してきた道のり、時計や顕微鏡などの人類の知恵の歴史が分かりやすく展示されており、知的好奇心が掻き立てられました。

06 筑波大学



研究員になった気持ちで実験に没頭し、お手伝いして下さった大学生の姿を見て、何年後かの自分を想像することが出来ました。

探究ツアーに参加して 3年 細川 ひより



ANA 整備工場見学では、航空整備士の仕事や航空機の構造を見ることができました。航空機に使われている部品はそれぞれが精密であり、私も聞いたことがあるメーカーのものばかりで驚きました。普段は決して見ることができない航空機の安全飛行のために行われる作業など内容はとても興味深く、将来の職業選択の幅を広げるきっかけとなりました。また、この探究ツアーを通じて、様々な分野で知らないうちに多くの人々やモノに支えられていることを改めて実感し、将来について深く考える貴重な経験となりました。

探究ツアーに参加して 3年 糸山 夏二郎



このツアーの中でも、特に株式会社メディセオの代表である渡辺秀一さんのお話が印象的でした。普段は知り得ない大企業の代表ならではの経験談や企業の紹介を通して、自分が企業に入社する際に求められる人物像について学ぶことができました。また、企業の代表が考えていることを直接感じることができ、自身の将来を想像する上で非常に貴重な体験となりました。さらに、会社の見学を通して、実際に勤務中の方々を見ることができ、自分が進学や就職を通じて社会の一員として成長していく過程がとても楽しみになりました。

探究発表への道程

Quest presentation

2年生では、各自で設定したテーマに基づき1年間をかけて本格的に探究活動を進めます。試行錯誤を繰り返した探究活動が探究発表会に至るまでの軌跡をご覧ください。

探究する



2年生では、各自の探究テーマに対してそれぞれのめり込んでいきました。実験を重ねたり、アンケートの作成をしたり、大学の先生に直接連絡を取って大学と一緒に実験させてもらう探究生もいました。

それぞれが主体的に課題を発見し、課題を解決するために最善の策を考える。その繰り返しが何より楽しくやりがいのある学習活動となりました。



自作した小型重力発電装置で発電の可能性を探る



ボールを濡らしたり変形させ空気の流れを確かめる風洞実験



タマネギから取り出した糖で乳酸菌を培養するための培地を試作



企業からお借りした爪の硬さを測定する装置で計測



用水路発電のための水車を材料調達から設計、製作まで自ら行う



連携している兵庫教育大学の教授と夏休みに行う実験の打ち合わせ



各自の探究の成果が出始めた2学期。考察をまとめ、タブレット端末などのICT機器を使い大型ポスターを制作します。ポスター完成後は個人探究の成果について何度も発表の練習をします。発表は校内にとどまりません。時には大学院生にZoomで、また時には大学の教授に。何度も発表を繰り返し、その都度アドバイスをいただきながら更に探究を磨き上げていきます。プレゼンテーション能力が驚くほどに上がることはもちろん、主体的な学習活動だからこそ学習に対する向上心を育てることができました。



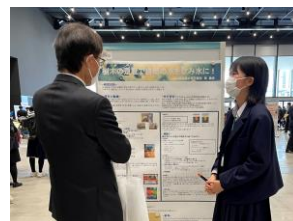
高大連携課題研究合同発表会 at 京都大学



発表後、仲間や本校卒業生の大学生・大学院生から質問や意見をもらい新たな課題を見つける



「中・高生探究の集い2023」at 関西学院大学



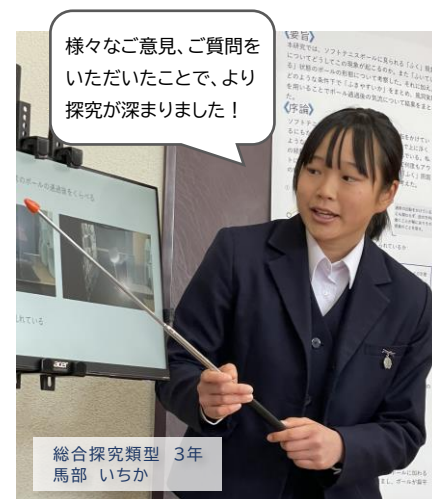
「第3回Girl's Expo with Science Ethics」での研究発表



3月。いよいよ2年間の集大成である発表がやってきました。一般生徒の「総合的な探究の時間(しんか)」と合同での発表会です。

発表会では今までもアドバイスをいただいてきた、神戸大学、大阪大学、関西学院大学の先生方も来ていただき貴重なお話をしていただきました。

粘り強く学習を積み上げてきた結果、探究生それぞれのテーマは大きく深まりました。この達成感を胸に、3年生では更に主体的に学習し、目標の進路を実現させてくれることでしょう。



様々なご意見、ご質問をいただいたことで、より探究が深まりました！

総合探究類型 3年 馬部 いちか

仕上げ

個人探究の



合同発表会

探究・しんか



大学入試 合格実績

探究的なモノの見方・考え方を働かせ
教科横断的、文理融合的に探究活動を推進

- ▶ 新しい学力観に通じる「探究する力」を育成することで学力向上へとつなげます。
- ▶ 探究活動を核として得た「グローバルな視点と高い教養」が未来のリーダーを育成します。

国公立大学

61%
合格

総合探究類型で
なりたい自分を
実現しよう！



総合探究類型 2年
山下 咲楽

11期生 合格実績

【国公立大】

北海道大 2(総合理系 1,工 1) 京都教育大(教育) 大阪教育大(教育) 神戸大 2(海洋政策 2)
岡山大 3(工 2, 医) 広島大(総合科学) 徳島大(理工) 香川大(創造工) 高知大(地域協働)
香川保健医療大(保健医療) など

【私立大】

同志社大(法, 生命医科) 立命館大(理工, 生命科学) 関西学院大(経済, 社会, 工)
関西大(総合情報, システム) 京都産業大(情報理工) 近畿大(文芸, 工, 理工)
甲南大(文, 経営, グローバル) 大阪工大(情報科学, 工) 兵庫医科大(看護) 京都橘大(健康科学)
神戸常盤大(保健科学) など

10期生まで 合格実績(合格時の大学名・学部名)

【国公立大】

京都大(薬含む) 大阪大 神戸大 京都工芸繊維大 大阪教育大 兵庫教育大 奈良女子大 三重大 北海道大 弘前大(医)
電気通信大 千葉大 信州大 静岡大 埼玉大 金沢大 広島大 岡山大 徳島大(医や薬含む) 鳴門教育大 愛媛大
高知大(医含む) 鳥取大 島根大 防衛大学校 大阪公立大 大阪府立大 兵庫県立大 和歌山県立医大(薬)
県立広島大 岡山県立大 新見公立大 香川保健医療大 愛媛県立医療技術大 高知県立大 公立鳥取環境大

【私立大】

同志社大 立命館大 関西学院大 関西大 京都産業大 近畿大 甲南大 龍谷大 早稲田大 青山学院大 法政大 中京大
駒澤大 兵庫医科大(薬) 兵庫医療大 京都薬大(薬) 大阪薬大(薬) 神戸薬大(薬) 京都外大 関西外大 同志社女子大
京都女子大 神戸学院大 武庫川女子大 など

卒業生からのメッセージ



神戸大学海洋政策科学部
総合探究類型 11期生
中谷 郁斗 さん

探究類型では、教室を飛び出し、人と関わり、自然に触れ、技術を体感し、変化の現場に身を置くことでしか得られない実践的な学びがありました。その学びが「答えのない問い」を導き出す力となりました。さらに、導き出した仮説を伝え、新たな問いを発見するという探究活動のプロセスを通して、意思伝達能力や課題発見力なども身につきました。大学生となった今、探究活動を通して得た力は必要とされる力であると実感しています。



京都大学薬学部
総合探究類型 9期生
太田 楽人 さん

探究種類の活動では、普段の授業とは異なる実践的な内容の活動を経験し、今後の研究で必要となってくる課題設定能力や考察力、プレゼン力を学び、鍛えることができました。ただ受け身になって教わるのではなく自分から考えて未知の課題に取り組む姿勢は、大学生になった今、とても重要なものであると実感しています。その姿勢を探究種類の活動を通して、高校生の時から実際に経験できたことはとても良かったと思います。